

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第2回 栃木東部地域会議
開催日時	平成27年6月24日 開会18時57分 閉会20時23分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	大橋 哲夫、大山 恵久、荻島 哲、柏崎 桂二、柏崎 章吉、 神田 誠司、倉持 好則、後藤 英雄、島田 秀夫、竹澤 克元、 千葉 義弘、藤本 紀子
欠席委員氏名	五十嵐 記代子、神戸 透、田中 雅人、谷中 俊太郎
事務局職員職氏名	地域まちづくり課 課長補佐 清水 孝之、 栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 出井 正一、 大宮公民館長 伏木 広安、国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域予算提案について ・部会について ・栃木市文化振興計画推進懇談会委員の推薦について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長 事務局 会長	<p>1 開会 司会：出井所長</p> <p>2 あいさつ 柏崎会長</p> <p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の出席委員数について、事務局から報告願う。 ・本日の出席委員は12名であり、全委員の過半数であるため、本日の会議は成立していることを報告する。 <p>(1) 地域予算提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明願う。 <p>(事務局が全提案書を読み上げ、各委員から補足説明をいただいた。)</p> <p>[提案事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 憩いの広場整備事業 ○ 国庁跡周辺整備事業 ○ 大宮地区地図作成事業 ○ 小学校登下校時“見守り隊”整備・強化事業 ○ 郷土芸能の振興・掘り起こし事業 ○ 健康年齢延ばし事業

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活性化支援事業 ○ 健康づくりと子供育成支援事業 ○ 地域の成り立ちと支え合う地域団体を知ろう事業 ○ 小規模特認校通学支援事業 ○ 秋の収穫祭 軽トラ市 ふれあいまつり事業 ○ 健康意識を高める定期的音楽・体験型イベント事業 ○ 健康づくり・認知症予防事業 ○ 小中学校の通学路の街灯設置事業
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの憩いの場所があるとよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・雨が降ると、国庁太鼓はビニールをかけなければならず、演目が中止になると、役員が作った舞台を使わないまま片付けることになり、可哀想だ。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長でも隣の自治会との境を分かっていない場合がある。縮尺を工夫して分かり易い地図を作りたい。小学生の登下校時の保護者の負担を減らすためにも、地域全体で見守りを行っていききたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県内で最も長寿なのが茂木町で、えごまの産地でもある。日常的にえごま油を使っていることだろう。東部地域がえごまの栽培に適していれば、農家の新たな収入源になる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化や祭が埋もれている。海外では広場が人で賑わっている。大塚団地や四季の森団地では毎朝ラジオ体操を実施している。学童保育も必要だが、親の目をもっと子どもに向けてもらい、一緒に過ごす時間を作って欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域会議の提案は、地域の合意を得ることになっているし、既に活動している地域団体もあるので、地域を知ることから始めて、地域の課題を解決する流れを作りたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1市5町が合併し、西方から藤岡まで南北42kmのちょうど中間がここ東部地域だと思っている。この地域で後々まで続いていくイベントを行うことが大切だと考える。ただ、地域でイベントや講座が行われても、そこに行く手段がない方も多くいるので、その支援も一緒に検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・経費の補助を受けて、宝探しのようなものを取り入れたウォーキングを行えるとよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が多くなって教室が足りない小学校から、児童が少なくて教室が余っている小学校に児童が異動することで、双方にとって良い状況になる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書未提出の委員さんからも何か提案があればお話しいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮公民館の東の道と、北の県道との丁字路が狭くて危ない。公民館は駐車場が少ないが利用者は多い。道路と駐車場を広げることを提案したい。(後に、この提案は地域懇談会に出すので、ここでは取り消したいとの申し出あり。)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(東部地域の提案限度額の) 305万円以内の提案1本に絞った方が良くはないか。

会長	(2) 部会について ・事務局から説明願う。 (事務局から、予算化できる提案が決まってから部会の要否を検討すること、部会を設置する場合はその分け方として提案内容の分野で分ける方法や、大宮と国府で分ける方法などがあることを説明した。)
副会長	・地区で分ける部会はいかなるものか。市としては、そのような分け方も認めているのか。
事務局	・部会の分け方については、まさに地域会議の委員の皆さんで決めていただきたい。
会長	・大宮と国府が一つになるのがベストだと思う。
副会長	・「東部」で一体となって進めていきたい。
委員	・事務局で委員提案の予算化の可否を決めるようだが、予算化「できない」とザックリ切るだけにしないで、このように変えればできるとか、この範囲なら可能とか、できるものに変えるような調整をしていただきたい。
委員	・単年度では終わらない事業を提案している。予算が単年度なので、トイレだけ先に整備するとかできると思う。この(地域予算提案)制度は来年度以降も続くものと理解してよろしいか。
事務局	・来年度以降も続く。
委員	・健康増進に関するボランティアが4箇所できた。体力測定を始めた。予算をあまりかけないでできることはある。有名スポーツ選手も「ま・ご・わ・や・さ・し・い」を取り入れている。
委員	・委員自ら予算内の事業を提案すべきではないか。
会長	・ずっと続く(地域予算提案)制度にして欲しい。
委員	・使わなかった予算は翌年度に繰り越せるか。
事務局	・繰り越せない。
委員	・地域会議がイベントなどを開催して収入を得ることは可能か。
事務局	・委員提案の中で、特にイベントなどはまちづくり実働組織で行えるものと考えている。
会長	(3) 栃木市文化振興計画推進懇談会委員の推薦について ・事務局から説明願う。
事務局	・通知をご覧いただき、委員の皆さんの中から推薦をお願いしたい。
会長	・立候補する方はいるか。
委員	・推薦依頼文に「地域の歴史等に精通あるいは興味・関心がある方」とあることから、長年教師として活躍された大橋委員を推薦したい。
副会長	・この懇談会は新しいものか。
事務局	・そのように伺っている。
会長	・大橋委員の承諾を得られれば、推薦したいが、いかがか。(一同了承) 大橋委員、お願いしたいが、いかがか。(大橋委員、了承) 大橋委員を推薦する。

事務局	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域会議の委員名簿や会議録をホームページに掲載しているので、ご覧いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域会議だよりを年2回程度発行する。
事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振込依頼書を未提出の委員さんは、速やかに提出願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回会議 7月22日(水)午後7時(国府公民館)